

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山 絵里
		全体計画						経費区分		-		内線	3631
事務事業名	4331 人権教育推進事業												
所 属	300400 教育委員会事務局・人権同和教育課												
施 策	07013600 人権が尊重される社会の実現												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100803 教育費・人権同和教育費・社会人権同和教育費											
	事業	010000 人権教育推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
学習・研修が知識理解にとどまらず、実践につながるような組織化と、自主的・積極的な啓発・広報活動を推進する。						すべての家庭、地域、企業・職場、団体・組織において人権教育を推進し、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす必要性を社会生活や歴史、文化等に関連付けて学び、差別を許さない明るい家庭、職場、地域づくりを、自主的・組織的活動で推進する。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
町別人権問題学習会や人権を考える市民のつどい等の開催、また、ポスター・標語の募集、視聴覚教材の貸し出しなど、さまざまな機会をとらえて学習・啓発し、人権教育を推進する。人権のまちづくり推進会議・企業人権教育推進会議の活動を支援した。	町別人権問題学習会や人権を考える市民のつどい等の開催、また、ポスター・標語の募集、視聴覚教材の貸し出しなど、さまざまな機会をとらえて学習・啓発し、人権教育を推進する。人権のまちづくり推進会議・企業人権教育推進会議の活動を支援する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	町別人権問題学習会への参加				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	4,226	4,260	4,294	4,328
	実績				
指標選定の理由	人権教育の推進のため				
最終年度目標の根拠	過去5年間の参加者数から算出				
指標名	部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくす市民大集会				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	720	740	760	800
	実績				
指標選定の理由	人権教育の推進のため				
最終年度目標の根拠	過去5年間の最多参加者数の800人を目標とする				
指標名	人権教育講座への参加				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	283	287	291	300
	実績				
指標選定の理由	人権教育の推進のため				
最終年度目標の根拠	平成26年度の参加者人数の10%増				

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		2,300	2,636
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	100	100
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,200	2,536
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,604.0	3,604.0
	嘱託職員	1,893.5	1,893.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,497.5	5,497.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,797.5	8,133.5

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	936	人権教育推進員謝礼、人権教育促進事業講師謝礼、人権を考える市民のつどい学習発表謝礼
11節 需用費	316	各学習会、研修会等の資料作成消耗品、人権教育啓発資料印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	971	人権のまちづくり推進会議、企業人権教育推進会議への補助金
その他	77	郵便料、人権教育啓発用DVD購入代

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	992	人権教育推進員謝礼、人権教育リーダー研修会講師謝礼、人権教育促進事業講師謝礼、人権を考える市民のつどい学習発表謝礼
11節 需用費	482	各学習会、研修会等の資料作成消耗品 人権教育啓発資料印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,080	人権のまちづくり推進会議への負担金 企業人権教育推進会議への補助金
その他	82	郵便料、人権教育啓発用DVD購入代

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	地域、企業、団体において自主的・積極的に人権教育を推進することが望ましいが、市や人権教育推進員等が活動を支援しながら、ともに学習を進めていくことが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	町別人権問題学習会は、区や公民分館の活動の一環として定着し、地域住民の人権問題への理解は深まってきている。 人権のまちづくり推進会議及び企業人権教育推進会議に、補助金を交付し、指導者養成講座や人権教育講座などの活動を支援している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	町別人権問題学習会の内容の充実や、自分のこととして考え行動するような人権教育の推進に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

町別人権問題学習会は、区や公民分館の活動の一環として定着しているが、企業、団体においても自主的・積極的に人権教育を推進することが望ましい。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
差別を許さず、人間を大切にする明るい社会実現のためには、町別人権問題学習会をはじめ、人権のまちづくり推進会議や企業人権教育推進会議での継続した人権教育・啓発が必要である。		家庭、地域、企業、団体等において人権教育を推進し、あらゆる差別をなくす必要性について学び、差別を許さない明るい地域づくりを自主的・組織的活動で継続していくことが必要である。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	